



J-BILAT Newsletter
No. 6
September 2010



J-BILAT 月刊ニュースレター 第6号 (2010年9月)

目次	page
1. ニュース	3
1.1 Space 分野の公募について 最近の催し	3
1.2 EURAXESS ニュースレター創刊	4
1.3 外部機関の企画によるセミナー	4
1.4 欧州研究会議(ERC) セミナー	5
1.5 第13回日本水環境学会シンポジウムでのポスター発表 (9月9日、京都大学)	5
1.6 第3回セミナー「環境分野での日欧研究協力の可能性」(9月15日、東京) 今後の関連する催し	5
1.7 第4回セミナー「医療・バイオテクノロジー、社会科学及び人文」、(10月26日、神戸)	6
1.8 11月以降のJ-BILAT セミナー	7
2. 日本の機関が関わっている欧州プロジェクト紹介 その6 CAPSIL プロジェクト	8
3. FP7について日本語で書かれた文献紹介 その6	10
4. 公募情報	11
4.1 太陽光発電に関するNEDOとFP7の共同公募	11
4.2 超伝導に関するJSTとFP7の共同公募	12
4.3 環境分野でのJSTのマッチングファンド (戦略的国際科学技術協力 推進事業に基づく EUとの「環境」分野に関する研究交流の支援)	12
4.4 その他、日本からの応募が可能なFP7公募	14
5. プロジェクトデータベースへの登録のお願い	18
6. 欧州連合加盟国紹介 その1 ベルギー	19



1. ニュース

1.1 Space 分野の公募について

第4、5号で現在出ている公募のお知らせをした際、宇宙分野につきましては次の公募 SPA.2011.3.2-02 Facilitating access to space for small scale research missions が以下の条件付きであるために特に日本からの参加に対し助成がされる可能性が高いものとして取り上げました。

Participation of international partners (from third countries (ICPC)4 or countries with S&T agreements or other space-faring nations (such as the US and Japan) is mandatory, proposals without such participation will be ineligible.

一方、年次計画(Work Programme 2011 Theme 9 “Space”)の11ページには以下の記述があります。

“All projects conducted in the Theme Space are open for such participation of third parties under the normal participation rules, with the topics mentioned above being of particular interest for international participation. Participants are eligible to participate and to be funded in the context of the Space Theme calls described in this Work Programme.”

関係機関とのコミュニケーションにより、今年は宇宙分野の全公募について、採択プロジェクトに日本からの参加機関があった場合、助成金が得られる可能性が高いことが確認されました。(勿論、欧州・域外を問わず、どの参加機関であれ、助成を受けるにはその必要性が応募書類にきちんと書かれている必要があります。)11月25日の締め切り迄あと2ヶ月ですが、またとない機会であり、関連分野で欧州との連携を考えておられる機関の方々にはぜひとも応募をご検討いただければと思います。以下が関連する駐日欧州連合代表部のウェブサイトです。

<http://www.deljpn.ec.europa.eu/modules/media/news/2010/100805.html>

1.2 EURAXESS ニュースレター創刊

研究者のキャリア形成とモビリティを支援する EURAXESS は、ウェブサイト他を通じて欧州域内の研究職公募などのサービスを行っていますが、初めてニュースレターが出されました。

http://ec.europa.eu/euraxess/euraxess_magazine/

欧州域外で働く欧州の研究者間のネットワーキングを支援している EURAXESS LINKS は現在アメリカと日本及び中国に存在します。補完関係にあるプロジェクトとして、J-BILAT は EURAXESS LINKS JAPAN と情報の共有や交換に努めています。EURAXESS LINKS JAPAN のニュースレターは毎号平均して 15 程の欧州及び日本の公募情報、催しの告知他をお知らせしています。日本での活動や毎月発行のニュースレター購読に関しては、以下の Lee Woolgar 氏にお問い合わせください。

Lee Woolgar Ph.D.

Information Officer, Euraxess Links Japan

E-mail: Lee.Woolgar@euraxess.net

http://ec.europa.eu/euraxess/links/japan/index_en.htm

最近行われた催し

1.3 外部機関の企画によるセミナー

J-BILAT では、主催セミナーや駐日欧州連合代表部との協力によるイベントを通じての情報提供に加え、研究機関や企業の企画されるセミナー等での講演も受けております。例えば、最近では以下のようなものがありました。

東北大学流体科学研究所セミナー 7月9日、仙台

情報通信学会研究会発表 7月20日、大阪

JAXA セミナー 8月23日、東京

FP7一般、もしくは特定のテーマに関する講演のご要望がありましたら、ご遠慮なくお知らせください。

1.4 欧州研究会議(ERC) セミナー

FP7 の枠組みの内、基礎科学の領域をカバーする Ideas プログラムを管轄する欧州研究会議(ERC)の理事長ヘルガ・ノヴォトニー教授の来日に合わせ、以下の講演会が開かれました。ノヴォトニー教授に加え、バーバラ・ローデ駐日欧州連合代表部科学技術参事官、ジャック・メテ欧州研究会議臨時局長及びERCの研究助成金を受給している日本人研究者である柘卓志氏の講演と質疑応答というプログラムでした。セミナーは以下の二回開かれ、現在公募中という事もあって、実際の参加に関するものなど多くの質問がされました。

- 1) 東京工業大学、8月26日 10:45-12:15
- 2) 理化学研究所、8月27日 13:30-15:00



1.5 第13回日本水環境学会シンポジウムでのポスター発表(9月9日、京都大学)

第13回日本水環境学会シンポジウムが9月8～9日、京都大学にて開催されました。9日午後のセッション、「アジア・アフリカとの協働による環境リーダー育成のための国際拠点形成事業」の一角で、J-BILAT もポスター発表を行い、活動の紹介と9月15日の環境テーマのセミナーへの参加呼びかけをしました。



1.6 第3回セミナー「環境分野での日欧研究協力の可能性」、9月15日、東京

第3回セミナーでは環境分野を取り上げ、科学技術振興機構(JST)が日本からFP7の特定の公募に基づくプロジェクトに参加する機関に出される助成の話も含め、該当分野での日欧連携の可能性を探りました。約45名の参加者があり、実体験に基づく講演の数々は好評でした。すべての講演資料は以下のサイトからダウンロードができます。

http://www.j-bilat.eu/seminar/seminar_3



今後の関連する催し

1.7 第4回セミナー「医療・バイオテクノロジー及び社会科学・人文」、10月26日、神戸

次回のセミナーは、医療・バイオテクノロジー及び社会科学・人文の二本立てで、日欧連携の可能性を探ります。プログラムの詳細は固まり次第ウェブサイト及びメーリングリスト他にて発表致します。ウェブからのご参加登録は10月初めに開始致しますし、メールでのご参加申し込みは随時可能です。関連分野の皆様の幅広いご参加を歓迎致します。

J-BILAT第4回セミナー J-BILAT 4th seminar

「医療・バイオテクノロジー及び社会科学・人文分野での日欧研究協力の可能性」

EU-Japan collaboration in health, biotechnology, social sciences and humanities

1. 趣旨：2009年11月に日本とEUは科学技術協力協定に署名し、今後の批准プロセスを経て日欧間の研究協力の一層の強化が期待されている。こうした動きを背景に、日欧産業協力センターは、2010年1月から3年間の予定で日本におけるEUの第7次研究枠組み計画（FP7）情報サービス事業（J-BILATプロジェクト）を立ち上げ、日・EUの研究協力に関する有益な情報を発信している。今回はJ-BILAT主催の第3回セミナーとして、バイオテクノロジー及び社会科学・人文関連分野での日欧間の研究協力の可能性を探るセミナーを開催する。全体講演に加え、分野ごとに分かれての具体例報告も行う。
 “Since the signature of the science and technology agreement between the EU and Japan in November 2009, further reinforcement of the EU-Japan cooperation in R&D is expected. The EU-Japan Centre for Industrial Cooperation has launched an EU project, J-BILAT, for the promotion of EU-Japan collaboration in R&D, supplying useful information mainly in Japanese. In the 4th seminar organized by the project, we are going to discuss the potential and outlook of the EU-Japan cooperation, focusing on biotechnology, social sciences and humanities. After a plenary session, reports by specialists will be made in topical sessions.”
2. 共催／後援：EUインスティテュート関西, Supported by the EU Institute Kansai
3. 対象：公的研究機関および企業の研究者、助成団体関係者など80－100名
 Target: Researchers and research managers from public/private organizations, funding agencies and other multipliers, 80-100 participants
4. 日時：2010年10月26日 13:30～17:30（受付開始13:00）
 Date: 26th October 2010, 13:30 – 17:30 (registration starts at 13:00)
5. 会場：TRI 臨床研究情報センター（神戸）, Venue: TRI Center (Kobe)
6. 使用言語：日本語または英語、同時通訳なし
 Language: Japanese or English, without interpretation

7. 参加費：無料、但し事前登録が必要。オンライン登録
 (<http://www.j-bilat.eu/registration-seminar>) もしくは氏名(ふりがな及びアルファベット)、所属(和名・英名)、役職(和名・英名)、電話番号、メールアドレスをご明記の上、担当者までお申込み下さい。
 (プロジェクトマネージャー 市岡利康、Email: toshiyasu.ichioka@eu-japan.gr.jp)
 Participation is free, with advance registration

8. 予定されている講演者：
 Programme (subject to change)

全体講演(知的財産について)

八浪 公夫 氏, 奈良先端科学技術大学院大学 産学連携推進本部 TLO 部

Mr. Kimio Yatsunami, Coordinator for Technology Transfer, Industry-Government-Academia Collaboration Group, Nara Institute of Science and Technology

医療・バイオ分野の事例報告

- 仙石 慎太郎 氏, 京都大学 物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)
 Mr. Shintaro Sengoku, Kyoto Univ.
- ピエロ・カルニンチ 氏, 理化学研究所
 Mr. Piero Carninci, RIKEN
- 浅田 孝 氏, 財団法人 先端医療振興財団 クラスター推進センター
 Mr. Takashi Asada, Foundation for Biomedical Research and Innovation

社会科学・人文分野の事例報告

- 平川 秀幸 氏, 大阪大学コミュニケーションデザインセンター
 Mr. Hideyuki Hirakawa, Osaka Univ.
- 杉谷 眞佐子 氏 関西大学・外国語学部 外国語教育学研究科
 Ms. Masako Sugitani, Kansai Univ.

最新版のプログラムは以下のウェブサイト随時掲載します。

http://www.j-bilat.eu/seminar/seminar_4

1.8 11月以降のJ-BILAT セミナー

今のところ、以下の日程および対象分野で行う予定です。今後の情報にご注目くださり、ぜひご参加を頂けると幸いです。

第5回「情報通信技術(ICT、医療への応用を含む)、航空、マリーキュリー」、
 11月11日午後、東北大学、仙台

2. 日本の機関が関わっている欧州プロジェクト紹介その6

CAPSIL プロジェクト

プロジェクト名	International support of a common awareness and knowledge platform for studying and enabling independent living
短縮名	CAPSIL
契約番号	215639
プロジェクト開始日	2008年7月1日
期間	24 ヶ月
助成金	587,150 ユーロ
ウェブサイト	http://www.capsil.org/



第6回は、情報通信(ICT)分野のプロジェクト、International support of a common awareness and knowledge platform for studying and enabling independent living (CAPSIL) を取り上げます

障害があってもや高齢になっても個人ができるだけ自立して生活できるようにするための情報技術の共通基盤を構築するためにはどうしたら良いかを国際的な視点から考えてみようというのがプロジェクトの趣旨でした。コーディネータはダブリン大学 (University College Dublin、アイルランド)で、同じくアイルランドのINTEL Performance Learning Solutions Ltd.、イギリスのImperial College Of Science, Technology and Medicine 及び The Queen's University of Belfast、Universita Degli Studi Di Genova、アメリカからSpaulding Rehabilitation Hospital Corp. (Harvard Medical)、Oregon Health and Science Universityの二つのパートナーに加え、日本から早稲田大学工学部の橋本周司教授のグループが参加しておられました。

21世紀のヘルスケアにおいて、社会全体の高齢化というのは一番の重要なポイントであり、これまで日本や欧州、北米において人々が長く独立して生活できるようにと数々の ICT を利用した解決法が模索されてきましたが、それらは統一されておらず、断片化したものでした。

プロジェクトには以下の3つのゴールが設定されていました。

1. EU 及び同等もしくはそれ以上に高齢化の進む日本とアメリカの取り組みの詳細な解析に基づき、効果的かつ持続的な解決法のためにEU全体のロードマップを作成すること、
2. 高齢化に関する研究成果を、共通のプラットフォーム(CAPSIL Wiki)にのせる手順を提案し、分野の研究者や企業の支援をする

3. CAPSIL ロードマップやワークショップの通じ、日米の政策決定に影響を及ぼし、研究指針や助成のあり方を三大陸にまたがってコーディネートされるよう働きかけること

日本からの参加のきっかけは、感性情報処理関係の研究を通して、長い知り合いである The Queen's University of BelfastおよびUniversita Degli Studi Di Genovaの研究者に誘われて、特に日本で盛んなロボット研究の視点からの参加を求められたことだそうです。橋本教授によれば、プロジェクトに参加して、分野の欧州・米国の事情が見られ、共通の問題点と地域ごとの特性・課題がわかるようになったということです。

年2-3回の会合に加えて比較的頻繁に行われた電話会議では、欧州、米国、日本間の時差のために、日本の夜中に開催されることが多く、また、顔が見えないところで5, 6人が話すために苦勞をされたそうですが、また、とにかく積極的に口を出して意見を言わないといけないということで良い経験になったそうです。また、欧米に比べるとやはり日本は遠くて、緊急の召集には参加できないこともありました。予算の割り当てを受けておられましたが、人件費と旅費が中心の調査研究で、経理的には比較的問題は少なかったようです。コーディネータがE Cとのやり取りを行い、橋本教授らはコーディネータとの交渉だけですみました。プロジェクトリーダーとE Cの担当者のやり取りがスムーズであることが重要なようです。

申請時には、大部の契約文書の確認が必要であること(大学の担当部局に法的な表現に関するチェックを依頼しました。)、また、所属機関の法的な証明書が必要であるなど戸惑われることもありましたが、多くはないにせよ海外から研究費を受けるというのは良い経験となったと感じておられるそうです。

橋本グループでは、これからも、このプロジェクトの続きがあればもちろんのこと、他のテーマでも積極的に国際プロジェクトには参加したいと考えておられます。



2009年10月 NICTでのミーティング(関連研究の相互紹介と議論)(写真提供: 橋本 周司 氏)

橋本グループの詳しい研究内容につきましては、以下のリンクをご参照ください。

<http://www.shalab.phys.waseda.ac.jp/index-j.html>

3. FP7について日本語で書かれた文献紹介その6

修正期に至る EU の情報基盤政策

阪大法学第5 9巻第1号pp.21-100(2009)及び第5 9巻第5号pp.797-862(2010)

情報化社会の実現は欧州連合が協力を推進しているものの一つです。そのための研究開発や基盤整備に於いては、アメリカの押し進める市場主義経済に対し、欧州は結束政策(Cohesion policy)を掲げて社会経済をめざしており、とくに情報化社会で情報にアクセスできない人々が疎外される状況(デジタル・デバイド)を作らないことを重要視しています。今後の日本の政策決定・吟味においても参考になるものだと思います。

研究枠組み計画については、その始まり、第1次枠組み計画の前年に始まった(ESPRIT)が一つの構成要素となり、第4次まではそのまま研究枠組みのなかの情報基盤分野のプログラムとして残っていました。文献では特に第4次から第7次の始まりまでが、関連する法律やコミュニケの引用、重点領域の移り変わりも含めて詳述されています。

一般に公開のされていない学術論文であるために入手は簡単ではありませんが、情報基盤が特に欧州に於いてどのような意図のもとに整備されてきたかについてご興味のある方にはお読みいただきたい文献です。

なお、本文献に関するお問い合わせの場合、以下田中さんに直接ご連絡くださいとのことです。

560-0043

大阪府豊中市待兼山町1-6

大阪大学法学部宛て

E-mail: kikuo@law.osaka-u.ac.jp

4. 公募情報

7月20日に出された公募を中心に、現在日本からの参加が可能なものについて再度掲載致します。まずはご興味のある分野の Work Programme をよくお読みになり、利用できそうな公募があればご検討いただければと思います。NEDO及びJSTがECと共同で行う公募に加え、JSTが環境分野の特定の公募に基づくプロジェクトに日本機関が参加する場合に独自に審査をされた上で助成を行うマッチングファンドの公募も出ております。

4.1 太陽光発電に関するNEDOとFP7の共同公募

「高効率集光型太陽電池セル、モジュール及びシステムの開発(日EU共同開発)」

日本からの参加機関は、NEDOに応募することになります。以下のNEDOサイトから必要書類をダウンロードし、ご検討ください。

<https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/FF/nedokuobo-place.2008-03-13.7286786756/nedokuobo.2010-07-07.8259663304/>

締め切り：平成22年11月25日

なお、この公募に関し、NEDOによる説明会が7月30日に開催されました。

またご参考までに、欧州側プロジェクトに対する公募は以下のようになっています。

Type	Identifier	Deadline (Brussels local time)	Themes involved	Comments
Cooperation	FP7-ENERGY-2011-JAPAN	25 November 2010 at 17:00	Energy	A proposal submitted to the European Commission (EC) will be eligible only if co-ordinated with a Japanese proposal submitted in parallel to the Japanese New Energy and Industrial Technology Development Organization (NEDO). This coordination should be balanced in terms of the R&D efforts deployed by the EU and Japan respectively. Guidance to applicants on Coordination Agreement is given in the Information Package. Proposals may be selected for funding only on the condition that their coordinated Japanese proposal is also selected for funding by NEDO. Proposed projects will have a maximum duration of 42 months and must end at the latest by February 28th 2015.

4.2 超伝導に関するJSTとFP7の共同公募

戦略的国際科学技術協力推進事業(共同研究型)「超伝導(superconductivity)」に関わる日-EUの研究者による共同研究課題

日本からの参加機関は、JSTに応募することになります。以下のJSTサイトから必要書類をダウンロードし、ご検討ください。

http://www.jst.go.jp/sicp/announce_ejoint.html

締め切り：平成22年11月17日(水)

欧州側の機関に対する公募は以下のようになっています。

Type	Identifier	Deadline (Brussels local time)	Themes involved
Cooperation	FP7-NMP-2011 EU-Japan	17 November 2010 at 17:00 (Brussels local time)	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies

4.3 環境分野でのJSTのマッチングファンド

戦略的国際科学技術協力推進事業に基づくEUとの「環境」分野に関する研究交流の支援環境関連の以下の公募課題に基づくプロジェクトへの日本からの参加機関に対する助成で、3年間で2,250万円を上限として研究交流のための委託研究費を受けられます。日本からの参加機関は、プロジェクトのパートナーとしての欧州委員会への応募とともに、JSTへの応募もすることになります。以下のサイトから必要書類をダウンロードし、ご検討ください。

http://www.jst.go.jp/sicp/announce_eu3rd.html

締め切り：平成22年11月19日(金)もしくは平成23年2月2日(公募による)

プロジェクトは、以下のFP7の公募課題のいずれかに対応している必要があります。

1. Improvement of the representation of critical climate processes in climate and Earth system models (ENV.2011.1.1.1-1)
2. The impact of atmospheric pollution on European land ecosystems and soil in a changing climate (ENV.2011.1.1.2-1)
3. Climate forcing of non UNFCCC gases, aerosols and black carbon (ENV.2011.1.1.2-2)
4. Vulnerability of Arctic permafrost to climate change and implications for global GHG emissions and future climate (ENV.2011.1.1.3-1)

5. Impacts of climate and land use changes in the Amazon (ENV.2011.1.1.5-1)
6. Combined exposures to environmental agents: integrated approaches to evaluate environment-health relationships in children (ENV.2011.1.2.2-1)
7. Lagoons in the context of climate change (ENV.2011.2.1.1-1)
8. Hydromorphology and ecological objectives of WFD (ENV.2011.2.1.2 -1)
9. Behaviour of ecosystems, thresholds and tipping points (ENV.2011.2.1.4-2)
10. Marine microbial diversity – new insights into marine ecosystems functioning and its biotechnological potential (OCEAN.2011-2)
11. Natural water systems and treatment technologies to cope with water shortages in urbanised areas in India (ENV.2011.3.1.1-2)
12. Integration and optimisation of information for building a Global Carbon Observing System (ENV.2011.4.1.1-1)
13. Inter-operable integration of shared Earth Observations in the Global Context (ENV.2011.4.1. 3-1)
14. Promoting conifer genomic resources (KBBE.2011.1.1-01)
15. Integrated approach to studying effects of combined biotic and abiotic stress in crop plants (KBBE.2011.1.1-02)
16. Root signalling, growth and development under abiotic stress conditions (KBBE.2011.1.2-05)
17. Plant photosynthetic efficiency: from a C3 to a C4 system (KBBE.2011.3.1-01)
18. BioWASTE - Novel biotechnological approaches for transforming industrial and/or municipal biowaste into bioproducts – SICA (KBBE.2011.3.4-01)
19. Active nanomembranes/-filters/-adsorbents for efficient water treatment with stable or regenerable low-fouling surfaces (NMP.2011.1.2-3)
20. Intelligent testing strategies for nanomaterials impact and exposure – towards regulation and clustering of materials (NMP.2011.1.3-3)

(The serials are the area number of the call of FP7: <http://cordis.europa.eu/fp7/dc/index.cfm>)

4.4 その他、日本からの応募が可能なFP7公募

この他に、以下のFP7の公募が利用できます。第5号発行以降に3つの公募が追加されました。ピンクでハイライトされているものです。また、緑色のものは、特に日本からの参加をターゲットにした部分のある公募や日本からの参加者・機関に助成金が出る可能性のあるものです。

プログラム	公募番号	応募締切 (Brussels local time)	含まれるテーマ	Comments
Capacities	FP7-INCO-2011-7	15 March 2011 at 17:00	Activities of International Cooperation	Strengthening European research facilities in third countries - INCO-LAB 日本にある欧州の機関との共同研究所の利用を欧州の他の国にも広げるもの。
Capacities	FP7-INCO-2011-6	15 March 2011 at 17:00	Activities of International Cooperation	Reinforcing Cooperation with Europe's neighbours in the context of the ERA
Capacities	FP7-REGIONS-2011-1	09 December 2010 at 17:00	Regions of Knowledge	
Capacities	FP7-SME-2011-CP	08 December 2010 at 17:00	Research for the benefit of SMEs	This call concerns the activity "Demonstration Action", for which the funding scheme "Collaborative Projects - CP" is used.
Capacities	FP7-SME-2011-BSG	08 December 2010 at 17:00	Research for the benefit of SMEs	This call concerns the activities "Research for SMEs" and "Research for SME Associations", for which the funding scheme "Research for the benefit of specific groups (in particular SMEs) - BSG" is used.
Capacities	FP7-INFRASTRUCTURES-2011-2	23 November 2010 at 17:00	Research Infrastructures	Link to the Infoday page: http://cordis.europa.eu/fp7/ict/e-infrastructure/events-20100611_en.html
Capacities	FP7-INFRASTRUCTURES-2011-1	25 November 2010 at 17:00	Research Infrastructures	
Capacities	2010/S 132-201606	08 September 2010 at 16:00	Research Infrastructures	
Capacities	FP7-REGPOT-2011-1	07 December 2010 at 17:00	Research Potential	
Capacities	FP7-SCIENCE-IN-SOCIETY-2011-1	20 January 2011 at 17:00	Science in Society	
Capacities	FP7-SCIENCE-IN-SOCIETY-2011-EVENTS	25 November 2010 at 17:00	Science in Society	
Cooperation	FP7-ENERGY-2011-2	07 April 2011 at 17:00	Energy	See also SET-Plan (Technology Roadmaps and Implementation Plans of the European Industrial Initiatives)
Cooperation	FP7-ENERGY-2011-EXCHANGE	16 November 2010 at 17:00	Energy	Consortia consisting of a large number of partners for the exchange programme are encouraged. 非原子力エネルギー分野での人材交流(研究者のみでなくマネージャー等の交流も含む)
Cooperation	FP7-ENERGY-2011-1	16 November 2010 at 17:00 26 April 2011 at 17:00 - Stage 2 (only for proposals retained at stage 1) (indicative deadline)	Energy	
Cooperation	FP7-OCEAN-2011	18 January 2011 at 17:00	Energy, Environment (including Climate Change), Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology, Transport (including Aeronautics)	Information Day on the call: Brussels, 9 September 2010 (prior registration is compulsory - see the InfoDay webpage for more details)

プログラム	公募番号	応募締切 (Brussels local time)	含まれるテーマ	Comments
Cooperation	FP7-2011-NMP-ENV-ENERGY-ICT-EeB	02 December 2010 at 17:00	Energy; Environment (including Climate Change); Information and Communication Technologies; Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	Energy-efficient Buildings - 2011
Cooperation	FP7-ERANET-2011-RTD	22 February 2011 at 17:00	Energy; General Activities; Health; Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology; Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies; Socio-economic sciences and Humanities; Transport (including Aeronautics)	A Pre-Proposal Check (PPC) service is available (see form in Additional documents) to those wishing to submit an ERA-NET/ERA-NET Plus action under the FP7 joint call. This service allows a proposer to check on the appropriateness of their proposed action and the eligibility of the proposal consortium. Please note that the pre-proposal check service, for the cut-off date of 22 February 2011, will remain open until 25 January 2011.
Cooperation	FP7-NMP-ENERGY-2011	25 November 2010 at 17:00	Energy; Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-ENV-2011	16 November 2010 at 17:00	Environment (including Climate Change)	
Cooperation	FP7-ENV-2011-ECO-INNOVATION-OneStage	16 November 2010 at 17:00	Environment (including Climate Change)	
Cooperation	FP7-ENV-2011-ECO-INNOVATION-TwoStage	16 November 2010 at 17:00	Environment (including Climate Change)	
Cooperation	FP7-JPROG-2011-RTD	05 October 2010 at 17:00	Environment (including Climate Change); Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology	
Cooperation	FP7-ENV-NMP-2011	16 November 2010 at 17:00	Environment (including Climate Change); Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-2011-GC-ELECTROCHEMICAL-STORAGE	02 December 2010 at 17:00	Environment (including Climate Change); Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies; Transport (including Aeronautics)	Sustainable automotive electrochemical storage
Cooperation	FP7-KBBE-2011-5-CP-CSA	25 January 2011 at 17:00	Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology	The call FP7-KBBE-2011-5-CP-CSA covers all topics published in the KBBE Work Programme 2011, except for the topic KBBE.2011.1.3-06Development of next generation European system for cattle evaluation (funding scheme «Research for the benefit of SME»), which is set up as a separate technical call FP7-KBBE-2011-5-SME.
Cooperation	FP7-KBBE-2011-5-SME	25 January 2011 at 17:00	Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology	
Cooperation	FP7-HEALTH-2011-single-stage	10 November 2010 at 17:00	Health	

プログラム	公募番号	応募締切 (Brussels local time)	含まれるテーマ	Comments
Cooperation	FP7-HEALTH-2011-two-stage	13 October 2010 at 17:00, 10 February 2011 at 17:00 Second deadline (for 2-stage procedure indicative)	Health	
Cooperation	FP7-2011-ICT-GC	02 December 2010 at 17:00	Information and Communication Technologies	ICT for Green Cars-2011
Cooperation	FP7-ICT-2011-FET-F	02 December 2010 at 17:00	Information and Communication Technologies	FET Flagship Initiative
Cooperation	FP7-2011-ICT-FI	02 December 2010 at 17:00	Information and Communication Technologies	Future Internet-2011
Cooperation	FP7-ICT-2011-C	12 March 2013 at 17:00 - For Batch_15 STREP and CSA 25 September 2012 at 17:00:00 - For Batch_14 STREP and CSA 10 April 2012 at 17:00:00 - For Batch_13 STREP and CSA 25 October 2011 at 17:00:00 - For Batch_12 STREP and CSA 17 May 2011 at 17:00:00 - For Batch_11 STREP and CSA	Information and Communication Technologies	The relevant specific Guides for applicants and Handbook are not yet available and will follow as soon as possible. Project proposals for Batch 11 are receivable from August 4th 2010
Cooperation	FP7-2011-NMP-ICT-FoF	02 December 2010 at 17:00	Information and Communication Technologies; Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-NMP-2011-CSA-5	01 February 2011 at 17:00	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-NMP-2011-LARGE-5	04 November 2010 at 17:00, 28 April 2011 at 17:00 - Second deadline (for 2-stage procedure indicative)	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-NMP-2011-EU-Japan	17 November 2010 at 17:00	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	超伝導分野の JST-FP7 共同公募の欧州側のもの
Cooperation	FP7-NMP-2011-SMALL-5	5 November 2010 at 17:00, 28 April 2011 at 17:00 - Second deadline (for 2-stage procedure indicative)	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-NMP-2011-SME-5	6 November 2010 at 17:00, 28 April 2011 at 17:00 - Second deadline (for 2-stage procedure indicative)	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-SEC-2011-1	02 December 2010 at 17:00	Security	Security Research Call 4
Cooperation	FP7-SSH-2011-3	02 February 2011 at 17:00	Socio-economic sciences and Humanities	Coordination and support actions
Cooperation	FP7-SSH-2011-1	02 February 2011 at 17:00	Socio-economic sciences and Humanities	Collaborative projects (large scale integrating research projects)
Cooperation	FP7-SSH-2011-2	02 February 2011 at 17:00	Socio-economic sciences and Humanities	Collaborative projects (small or medium scale focused research projects)
Cooperation	FP7-SPACE-2011-1	25 November 2010 at 17:00	Space	Space Call 4 SPA.2011.3.2-02 Facilitating access to space for small scale research missions は日本やアメリカからの参加があることを前提とした公募

プログラム	公募番号	応募締切 (Brussels local time)	含まれるテーマ	Comments
Cooperation	FP7-TPT-2011-RTD-1	02 December 2010 at 17:00	Transport (including Aeronautics)	
Cooperation	FP7-AAT-2011-RTD-1	02 December 2010 at 17:00	Transport (including Aeronautics)	AAT.2011.7-20. Exploring opportunities and stimulating research cooperation with Japan にて、特に日本との連携を支援。ただし、助成金た得られるかは定かでない。
Cooperation	FP7-SST-2011-RTD-1	02 December 2010 at 17:00	Transport (including Aeronautics)	SUSTAINABLE SURFACE TRANSPORT (SST)-2011
Cooperation	FP7-GALILEO-2011-GSA-1-b	05 October 2010 at 17:00, 13 January 2011 at 17:00 - Second deadline (for 2-stage procedure indicative)	Transport (including Aeronautics)	The call FP7-GALILEO-2011-GSA-1 consists in two publication pages. This web page concerns FP7-GALILEO-2011-GSA-1-b, for which the funding scheme CP (2-stages) is applicable. For the CP (1-stage) and CSA-CA, please follow the link FP7-GALILEO-2011-GSA-1-a.
Cooperation	FP7-GALILEO-2011-ENTR-1	16 December 2010 at 17:00	Transport (including Aeronautics)	
Cooperation	FP7-GALILEO-2011-GSA-1-a	16 December 2010 at 17:00	Transport (including Aeronautics)	the funding schemes CP (1-stage) and CSA-CA
Cooperation	FP7-SST-CIVITAS-2011-MOVE	12 April 2011 at 17:00	Transport Sustainable Surface Transport - MOVE	
Ideas	ERC-2011-StG_20101109	09 November 2010 at 17:00	ERC	Life Sciences (Panels: LS1 – LS9) 若手の基礎科学研究者向け
Ideas	ERC-2011-StG_20101014	14 October 2010 at 17:00	ERC	Physical Sciences & Engineering (Panels: PE1 – PE10) 若手の基礎科学研究者向け
Ideas	ERC-2011-StG_20101124	24 November 2010 at 17:00	ERC	Social Sciences & Humanities (Panels: SH1 – SH6) 若手の基礎科学研究者向け
People	FP7-PEOPLE-2011-IAPP	07 December 2010 at 17:00	Marie-Curie Actions	Marie Curie Industry-Academia Partnerships and Pathways (IAPP) 産学連携に関するマリーキュリープログラム。個人ではなく機関が応募
People	FP7-PEOPLE-2011-ITN	26 January 2011 at 17:00	Marie-Curie Actions	Marie Curie Initial Training Networks 2011 (ITN) 大学院生レベルを対象にしたもの。個人ではなく機関が応募。
People	FP7-PEOPLE-2011-NIGHT	12 January 2011 at 17:00	CSA for Researcher's Night	
JTI	FCH-JU-2010-1	13 October 2010 at 17:00	Joint Technology Initiatives	
JTI	SP1-JTI-CS-2010-04	12 October 2010 at 17:00	Joint Technology Initiatives (Annex IV-SP1)	
JTI	SP1-JTI-CS-2010-05	09 December 2010 at 17:00	Joint Technology Initiatives, Clean Sky	
Euratom	FP7-Fission-2011	7 April 2011 at 17:00	Nuclear Fission and Radiation Protection	

何かご質問等ありましたら、J-BILATにお知らせくだされば、できる範囲でお答え致します。また、ご応募の後に採択された場合など、ぜひ体験をお寄せいただければと思います。次年度以降のセミナーやワークショップで、共有したいと思います。

5. プロジェクトデータベースへの登録のお願い

プロジェクトに関する情報をお送りするために、データベースへの登録をお願いしております。プロジェクトウェブサイトからの登録 (<http://www.j-bilat.eu/registration>) に加え、メールやファックスにて、以下の情報をお送りいただいても結構です。

Registration form

Title (Mr. /Mrs./ Dr. /Prof.)		_____
Surname	姓	_____
Name	名前	_____
Position	役職	_____
Affiliation	所属	_____
Mailing address	所属先住所	_____
E-mail address	メールアドレス	_____
Telephone No.	電話	_____
Fax No.	ファックス	_____
Area of interest	興味のある分野	_____
Health	保健	<input type="checkbox"/>
Food	食料	<input type="checkbox"/>
Agriculture and Biotechnology	バイオテクノロジー	<input type="checkbox"/>
information and communication technologies (ICT)	情報通信技術	<input type="checkbox"/>
Nanosciences	ナノ科学	<input type="checkbox"/>
Nanotechnologies	ナノ科学及びナノテクノロジー	<input type="checkbox"/>
Materials and new production technologies	材料及び新生産技術	<input type="checkbox"/>
Energy	エネルギー(原子力を除く)	<input type="checkbox"/>
Environment (including climate change)	環境(気候変動を含む)	<input type="checkbox"/>
Transport (including aeronautics);	運輸(航空を含む)分野	<input type="checkbox"/>
Socio-economic sciences and the humanities	社会経済科学及び人文科学	<input type="checkbox"/>
Security and space research	宇宙・安全・原子力	<input type="checkbox"/>
Other	その他	<input type="checkbox"/>

6. 欧州連合加盟国紹介 その1 ベルギー

今月号より、このスペースを利用して欧州連合加盟国、特に研究開発に関し、簡単な紹介をしていきます。第1回は、ベルギーです。

面積: 30,528 平方キロ
 主要都市: ブリュッセル(首都)、アントワープ、ヘント(ゲント)、シャルルロワ、リエージュ
 人口: 1075万人(2009)
 公用語: オランダ語、フランス語、ドイツ語
 宗教: カトリック75%他

経済: 名目GDP: 470,4 bn US\$ (2009)

産業構成GDP:

農業: 0.6%
 工業: 22%
 サービス業: 77.4%

科学・技術

国全体の研究開発支出(Gross Domestic Expenditure on R&D; GERD): GDPの1.90% (2007)

研究開発費の出所

政府 22% 民間 61%

科学技術はよく発達しており、11の大学といくつかの研究所がある。連邦制をとるため、科学・技術は国や地域など異なるレベルで組織されており、国家レベルの組織として

the Belgian Federal Science Policy Office (BELSPO)がある。以下はBELSPOが出している科学・技術データのまとめへのリンク。

http://www.belspo.be/belspo/home/publ/pub_ostc/BRISTI/Bristi_tome2_2010_en.pdf

様々な活動や研究プログラムに関しては、以下のサイトにまとめられている。

<http://www.research.be/>



(出典: CIA Factbook, Wikipedia, OECD他)

日本におけるFP7情報サービス事業(J-BILAT)

プロジェクト名	BILAT in Japan	短縮名	J-BILAT
プロジェクト開始日	2010年1月1日	契約番号	244310
期間	36ヶ月		
予算	612,090ユーロ(内500,000ユーロがFP7からの助成金)		

19 of 19

本ニュースレターに含まれるFP7関連その他の情報は得られた時点で最新のものを正確にお伝えするよう努めておりますが、意見等は関係機関の公式見解を表すものではなく、また本文にEUの公式文書その他の日本語訳が含まれる場合にも、原典と同等の内容の正当性を保証するものではありません。本ニュースレターに関するご意見・ご要望・配信の停止を含むお問い合わせは、右記の担当、市岡までお寄せください。

Fabrizio Mura
 プロジェクト代表
 E-mail: [fabrizio.mura \[at\] eu-japan.gr.jp](mailto:fabrizio.mura[at]eu-japan.gr.jp)

市岡 利康
 プロジェクトマネージャー (J-BILAT担当)
 E-mail: [toshiyasu.ichioka \[at\] eu-japan.gr.jp](mailto:toshiyasu.ichioka[at]eu-japan.gr.jp)

日欧産業協力センター
 〒102-0082 東京都千代田区一番町13-3
 ラウンドクロス一番町4階
 Tel: +81-(0)3-3221-6161
 Fax: +81-(0)3-3221-6226



Bilat in Japan is co-funded under the 7th Framework Programme for RTD under the Capacities Programme - International Cooperation (Grant agreement No.: 244310)

© 日欧産業協力センター
 EU-Japan Centre for Industrial Cooperation

編集: 市岡利康, Christian Roessel

Please click for TWITTER